

新体制でスタートします。よろしくお願ひします。

西尾市役所
NISHIO CITY OFFICE



市議会だより

第127号

6月定例会 人事案件、補正予算などを審議

第17回西尾市議会議員選挙執行前に、6月定例会を4月14日から5月11日まで28日間の会期で開催し、人事案件、補正予算など諮問1件、議案11件及び陳情1件を審議しました。

4月17日、18日には、10人の議員が市政について一般質問を行いました。主な内容については、次のとおりです。



至誠クラブ
中村 健

ヘルプカードとハート・プラス
マークカードの配布を

問 外見からわからなくても、周囲の方に援助や配慮を必要としていることを知らせる、ヘルプカードやハート・プラスマークカードについて、西尾市でも配布しないか。

答 近隣市ではまだ導入されていないが、近隣市の今後の動向も注視しつつ、前向きに検討していく。



知恵を絞ったシティプロモーションを

問 今年度予定している、シティプロモーション事業の詳細はどのようなものか。

答 若い子育て世代を中心にパンフレットを配布していくとともに、新たに宅地物件情報等を閲覧できる仕組みをウェブサイトに構築し、地価の安さをPRするとともに、SNS等を利用した情報の拡散を進めていく。

問 県外における観光や企業誘致等のイベントにおいて、西尾市というまち

全体を売り込む移住定住のシティプロモーションについても、あわせて行っていく考えはないか。

答 今年度から実施していきたい。

問 デマンド型乗合タクシー「ごまいかー」の役割はどのようなものか。

答 自宅から公共交通の幹線である鉄道駅またはバス停留所へアクセスすることで、交通不便地区の住民の交通手段として重要な役割を担っている。

問 年齢層別の内訳、主な用途の割合はどのようなものか。

答 約70%が65歳以上となっており、50歳代が17%、60歳以上65歳未満が8%。主な用途は、通院目的が約4割、買い物、食事目的が約3割となっている（平成25年度調査）。

問 吉良地区におけるサービスの改善について、一定期間、実証実験のような形で運用した上で、市内全域におけるサービスの拡充として広げていけるか。

答 吉良地区の事例を市内全域に拡大することについては、地区公共交通協議会を各地区で設置していただき、地域の交通事情を一番理解している地元からの提案を受けたいと考えているので、ご理解いただきたい。



西尾市民クラブ
本郷 昭代

婚活支援の充実を

問 平成28年度に西尾市として初の婚活支援事業を行ったが、実施状況はどのようなか。

答 セミナーと交流会をセットにした婚活イベントを2回開催した。男女それぞれ約20名の参加があり、合わせて20組のカップル成立となった。事前セミナーを受講し、婚活の心構えを学んでいたことが、マッチング数の高さに繋がったと考えている。

問 婚活支援事業参加者の意見・感想はどのようなだったか。

答 「民間の婚活イベントより雰囲気づくりが良い」などおおむね満足したとの意見が大半であった。今後の事業継続、回数の増加、定期的な開催を望む声も寄せられている。

問 平成29年度以降は、婚活支援事業をどのように継続・発展させていくか。

答 婚活イベントの開催回数をふやすなどの支援の充実を図っていききたい。他の自治体の先進的な取り組みについても今後調査研究していく。

利用しやすい公共施設について

問 屋内体育施設の利用料が2時間単位となって以来、施設の稼働率はどのように変化したか。

答 変更によっての稼働率に大きな変化はないが、今後もニーズ把握に努め利用者の使いやすいよう柔軟に対応していきたい。

問 稼働率が高いことによる今後の課題はどのようなか。

答 予約が入っていない場合は、個人利用も可能であるが、現状は十分に対応しきれない場合もある。施設利用に関しての情報提供に一層努めたい。

問 各ふれあいセンター・公民館の利用状況はどのようなか。

答 平成26年度と27年度を比較すると、利用人数は2万4000人余ふえ、56万7365人となった。矢田ふれあいセンターの認知度が上がり、公民館フエスティバルへの参加者がふえたことなどによるものと分析している。

問 公共施設再配置第一次プロジェクトの始動に伴い、生涯学習施設の改修・建設期間中の各施設利用者の利便性をどのように保っていくのか。

答 市の広報やホームページで、また公民館の利用者には館内に張り紙を掲示するなど周知に努め、工事期間中はほかの公民館やふれあいセンターの貸室等の利用をお願いして利便性を保っていく。



西政クラブ
松井晋一郎

西尾市の誇るアサリ産業を守るために

問 一色干潟でカイヤドリウミグモが発見されて以来、良質なアサリの漁獲量が激減している。5年間の漁獲量の推移はどうか。

答 平成24年度は1万5887トン、25年度は1万4255トン、26年度は8080トン、27年度は6658トン、28年度は1319トン。

問 漁獲量をこれ以上悪化させないため、国、県と連携してカイヤドリウミグモの成体を捕獲駆除する事業として、水産多面的機能発揮対策事業を実施されるが、概要と効果はどのようなか。

答 海中に浮遊するウミグモの成体を網を付けた桁を船でひいて捕獲駆除するもので、これに係る人件費、用船料及び廃棄物の処理費用について交付する。効果を見きわめるのは難しいが、現在行うべき最良の方法と考える。

問 県や漁協との連携はどのようなか。

答 平成28年度は県が実施する月1回のモニタリング調査と、漁協が実施した調査の結果を踏まえ、ウミグモの捕獲範囲を定めている。本年度も実施時

期や方法について、市と県水産課、水産試験場、漁協職員、アサリ漁業代表者と連携し実施する。

問 事業を実施していく上で、事業量の増加も想定される。補助事業費の補正対応はどのようなか。

答 捕獲駆除事業の進捗状況などを見きわめながら、柔軟かつ的確な対応に努めていく。

西尾市を支える雇用促進策について

問 本市には優良な企業が多数存在し、税収、雇用面で本市を支えていただいている。しかし、多くの市民の皆様はその情報をなかなか知る機会がないのが現状である。ハローワーク以外で、働き手と働く場をマッチングさせる情報発信または機会を設けないか。

答 雇用の安定促進のため「西尾市雇用推進協議会」を設置している。事業として、年3回、合同企業説明会を実施している。また、「広報にしお」を初め、市のホームページや各駅にポスターなどを張って周知に努めている。

問 30歳代、40歳代及び非正規社員にスポットを当てた就職説明会の開催を検討しないか。

答 「西尾市雇用推進協議会」において、企業が求める人材を把握し、就職説明会に参加しやすいよう、既に卒業した方を対象とした就職説明会の開催を検討していく。



西尾市民クラブ
鈴木 武広

幡豆地区の防犯対策のために

問 市としては、幡豆地区の交番設置について、どのように考えているか。

答 犯罪は多様化しており、24時間体制となる交番の必要性は、市としても認識している。幡豆地区は、本署から距離的にも離れているので、交番は地域住民の安心・安全の向上につながるものと考えている。

問 市は設置に向けて、積極的に働きかけるべきと提案するがどうか。

答 3か所の駐在所は市有地に設置されていることから、交番に集約されれば、跡地の有効活用も検討できるの
で、警察署に相談し、交番設置の可能性についての調査を行う。



西幡豆地区の都市計画道路
中部幹線の完了は

問 中部幹線（門内地区）の進捗状況及び今後の見通しはどのようか。

答 平成28年度末の進捗率は45%。平成29年度に残りの用地取得などを完了させ、早期の供用開始に向け、国や県

に対し補助金の確保に努めていく。

問 押しボタン式信号機の設置を要望しているが、市の取り組みは。

答 できるだけ道路の供用開始にあわせて設置をお願いしていく。

問 中部幹線の供用開始にあわせ、公園整備の予定は。

答 門内第2地区計画で公園550平方メートルが計画されている。地区内の区画割が決定した後に公園の配置が確定する。

西尾市斎場やすらぎ苑の施設管理について

問 築38年を経過するやすらぎ苑は、公共施設再配置実施計画で長寿命化を図ると聞いているが、その内容は。

答 平成26年度から平成35年度までの長期修繕計画を立て、計画的に改修や修繕を実施している。

問 現在残っている和式トイレ、控室の和式構造は高齢者に不便で、改修要望の声を多く聞かすが、今後の対応は。

答 女子トイレの洋式化については、現在でも大変混雑しており、和式トイレの個数を減らすのは現実的ではないと考えている。男子トイレについては、できるだけ早い時期に実施できるように調査していく。和式の控室は、女子トイレの増設とあわせ、長期修繕計画に盛り込むことを検討していく。



西尾市民クラブ
鈴木 正章

公共施設再配置第一次プロジェクトについて

問 新学校給食センターを西尾市須臾町地内に内定した経緯は。

答 県立特別支援学校の隣地で早期の用地取得が見込める。汚水処理も特別支援学校とあわせての整備で、公共下水道計画区域に編入が見込める。また、津波浸水想定区域外等である。

問 新学校給食センターの施設、運営の概要はどのようか。

答 施設はドライ方式とし、給食数は6400食規模で、アレルギー専用対応室を設置した、学校給食専用施設の運営とする。

問 一色地区のエクストリームパーク（スケートボード場）の検討状況は。

答 スケートボード場の建設を、B&Gプール跡地が適地と考え、平成31年度整備予定で検討を重ねていく。

問 公共施設維持管理一括発注の平成29年度予算策定の手順は。

答 市の業務要求水準書に従い、特別目的会社と施設所管課が内容をすり合わせて決定した仕様に基づき、予算計

画に計上した。

問 平成29年度予算執行の作業指示から経費支払いまでの役割分担は。

答 日程調整、業績監視までは施設所管課が、経費支払い事務は資産経営戦略課で行う。

問 平成30年度以降の公共施設維持管理一括発注の計画作成手順は。

答 施設、設備等の更新や撤去、法改正等での変更は、毎年度、特別目的会社で作成する業務計画書により協議する。

学校施設の適正管理について

問 学校施設の長寿命化対策の今後の取り組みは。

答 国や西尾市の長寿命化計画に基づき、平成32年度を目標年度に、学校施設の個別施設計画を策定する。

問 学校施設の長寿命化対策後の方向性は。

答 学校施設の目標耐用年数を最長80年と定め取り組む。

問 学校施設の計画的なりリニューアルについて検討しないか。

答 平成32年度までの策定を目標とした学校施設の個別施設計画の中で、リニューアルについても検討する。



公明党西尾市議員
大塚久美子

安心して健康に暮らせるまちづくり

問 妊娠期から子育て期にわたる多様なニーズに対応する子育て世代包括支援センターの設置は、いつまでに行うか。

答 平成30年度末の設置を目指す。

問 平成26年3月に質問した「内閣障害や妊娠初期の人が周囲に援助や配慮を必要としていることを知らせる」ヘルプカードを作成しないか。

答 できるだけ早い時期に検討する。

問 福祉団体に対して市はどのような役割を期待しているか。

答 心豊かに安心して暮らせる福祉行政を推進していくために、福祉団体の担う役割は大変重要である。

問 福祉団体の中には、市からの助成金とは別に自動販売機による収益を活動資金の一部に充てている団体もある。行財政改革には、行政財産目的外使用料の減免措置の見直しも含まれ、その後の活動に影響が及ぶ団体が出てくることも予想されるが、市として助成を考えているか。

答 今回の行財政改革推進計画による

行政財産目的外使用料の減免措置の見直しにより、福祉活動の一翼を担う福祉団体の活動に影響を及ぼすことが懸念されるのであれば、市として、それらにかわる助成方法も含め、今後、検討していく必要がある。

防災・減災対策

問 女性視点からの防災ブックの作成を考えないか。

答 防災対策の取り組みにつながることを期待できるため、検討する。

問 雇用されている人が消防団へ入団しやすく、そして消防団員として活動しやすい環境を整備するためには、事業所の理解と協力が必要である。消防団協力事業所制度を導入しないか。また、学生の消防団加入促進を図るために、学生消防団活動認証制度も導入しないか。

答 産業、就業構造の変化に伴い、西尾市の消防団員の約7割が被雇用者となっており、消防団協力事業所制度については、今年度の実施を目標に導入を検討する。また、学生消防団活動認証制度については、消防団活動に従事した大学生等の就職活動の支援を目的とする制度で、加入促進にもつながるため、早期導入の検討をしていく。



公明党西尾市議員
大河内博之

高齢者の健康づくり

問 介護予防と健康づくりにおいて、本市では男性が参加しやすい教室はあるか。また、それはどのように行われているか。

答 介護予防サービスタウンとして、ハワイトウェイブでトレーニングマシンを利用した男性こぼん教室を行っている。また、老人福祉センターにおいて、社会福祉協議会の運営により、囲碁や将棋、カラオケなどを行っている。

問 本市でも認知症予防のプログラムを取り入れた、お金をかけない、たばこを吸わない、お酒を飲まないの3原則に基づいた健康マージャンに取り組み考えないか。

答 認知症予防につながる健康マージャンの事業実施については、先進地の事例を参考に、場所の確保や委託方法などを今後研究していく。

問 今後、本市が管理している公園の健康遊具をふやす考えないか。

答 新たに建設する都市公園においては、事前にワークシヨップ等で地元住民の意見を聞き、児童遊具を含め配置等を勘案して検討していく。また、既

存の都市公園においては、既設遊具の更新時期が来たら地元要望を踏まえて検討していく。

高齢者の交通安全対策は

問 高齢者が運転免許証を自主返納した場合、本市の支援事業はどのようなものがあるか。また、昨年度の実績はどのようなか。

答 75歳以上を対象として、六万石くるりんバス無料乗車証の交付と反射材等の交通安全啓発品の配布をしている。六万石くるりんバス無料乗車証は、有効期限を交付の日から3年後の年度末までとしている。昨年度の実績は195名であった。

問 六万石くるりんバス無料乗車証の有効期限を、今以上に延長する計画はないか。

答 近隣市などの状況から見ても、現在のところ延長する考えはない。

問 六万石くるりんバスの路線のない吉良・幡豆地区の住民の方の配慮も含め、西尾市全体でデマンド型乗合タクシーの利用助成を検討しないか。

答 六万石くるりんバスの路線のない地域住民の方々への配慮も含め、市内全域のデマンド型乗合タクシーの利用助成を関係課と協議、検討していきたい。



日本共産党西尾市議員
前田 修

**就学援助制度の改善、
返済不要の奨学金制度を**

問 就学援助制度の拡充策は、具体的にどのようなもので、今年度から実施できるか。

答 入学支度金は今年度から実施し、現行、小学生が2万4700円を4万6000円に、中学生が2万3550円を4万7400円に引き上げる。支給時期を早め、入学前の3月に支給するように検討している。教育委員会での申請や口座振替については、30年度から実施できるように協議している。

問 高校・大学への給付型奨学金制度は、来年度から実施できるか。

答 現在、給付型の方向で考えており、今年度中に、奨学金制度を策定し、平成30年度を目標に進めている。

駅西広場整備事業について

問 事業者グループへの優遇策は全体でどれほどか。

答 補助予定額は、整備費補助が2億円、固定資産税等補助が10年間で約9000万円、借地料補助が10年間で約4000万円、総額で3億3000万円を予定している。

PFI方式について

問 これまでの反省点は何か。

答 反省点としては、市民から不安の声が上がったことであり、今後は、丁寧に説明し、確実に理解を得ていくことが必要だと認識している。

問 きら市民交流センター（仮称）について、これまでのように市が実施すれば国の補助金が得られるのに、PFI（BOT方式）事業では、補助金が得られず、結果的に高くなるのではないかと比較検討し、手法を見直すべきではないか。



きら市民交流センター（仮称）

答 県や国に強力に働きかけ、獲得できるように頑張る考えである。

問 国の補助金が得られるか確認できるまでストップすべきではないか。

答 このまま進めていきたい。

問 西尾市公共施設等総合管理計画に、「自校方式を続けるか、センター方式にするか、学校の改修計画にあわせ、統廃合やPFIの導入も検討する」とあるが、自校方式を見直すのか。

答 資産経営戦略局は白紙である。



無所属
鈴木 規子

**給食センター建替はどうか
進めるのか**

問 一色給食センターは、どこが行うのか。面積6300平方メートルというが、構造や耐震性、耐用年数など建物概要、施設の内容はどのようなか。

答 実施主体は、(株)エリアプランで、協力会社の(株)A-HOと協議中。施設概要・形態はまだ決まっていない。

問 (株)A-HOは厨房機器会社で、給食業者ではない。きちんと建設・運営ができるのか。給食業務を担う業者を入れないで進めるのか。

答 それ以外の業者もいるが公表できない。

問 エリアプランが企画提案をしてきた内容があるはずである。建設費、年間運営費はどれほどと見込んできたのか。

答 そうした記載は特になかった。

問 県立特別支援学校の給食も担うというが、具体的な建物概要、製造ラインなど形態も決まっていないあやふやな状態で県と協議を進めているということになる。おかしくないか。

答 食数はもとより、設備、調理員、調理方法等の構想が変わってくると考えられる。詳細については、エリアプラン、県と協議調整していくが、類似例から平面図を作成し、検討している。

問 では、これまでに業者とは、何回、何時間程度の協議を行ったのか。

答 平成28年度は6回。時間にして1回約1時間半程度行った。

問 アレルギー対応については、保護者からも意見を反映させる制度が必要と思うがどうか。

答 制度については調査研究していく。

子どもたちのアレルギー対策は

問 アレルギー対応委員会はいつから動き出すのか。

答 医師会、薬剤師会、西尾保健所、アレルギー支援ネットワーク等の関係機関と調整し、6月末か7月に始める。

問 アレルギーを持つ児童・生徒の新たな申請と個票の管理、対応はどのように行っていくよう改善されたのか。

答 アレルギーを持つ全ての児童・生徒の個人対応マニュアルを作成し、全職員で共通理解する機会を設けていく。

問 ヒヤリ・ハット集は作成したのか。

答 各学校から情報を収集し、平成29年3月に作成した。順次、改良を加えて周知していく。



西尾市民クラブ
永山 英人

人口減少社会におけるまちづくりは

問 平成27年の国勢調査の確定値で西尾市の人口は前回調査より男性1801人、女性891人、合わせて2692人増えているが、その分析は。

答 増加の理由は、景気回復により自動車関連企業等の察への入居者が増加したこと、区画整理の影響等で新築の家屋が増加したこと、サービスつき高齢者住宅の建設が飛躍的に進んだことが主因と分析している。

問 平成27年の転入者は6292人であったが、どのような理由で移住してきたのか、状況を把握しているか。

答 上位から仕事の都合、家の購入や借家の借りがえなどの住宅の都合、親や親族等との同居や近居、結婚である。

問 西尾市全体の人口は増えているが、幡豆地区の人口は減る一方。現在、人口減少の進んでいる地域における西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略上の取り組みはどのようなか。

答 旧幡豆郡に限定した取り組みでは、西尾蒲郡線の運行存続のための支援や三河線廃線に伴う代替バス「ふれんどバス」の運行、デマンド型タクシー

「いこまいカー」の運行など、交通利便性の向上を目指すものがある。

問 人口を呼び込む要素として、働くことができ子どもを育てやすい環境が一番。西尾市として成果が出つつある取り組みはどのようなか。

答 保育園・幼稚園の給食費無料化、放課後児童クラブの受入れ学年の拡大子どもが伸び伸びと活動することのできる園庭芝生化等である。

問 西尾市は、女性の力・活躍を「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中にもどのように取り入れ、展開しているか。

答 女性の個性と能力が十分に発揮されることが重要で、仕事と家庭生活の両立を可能とする社会構築が必要。さまざまな理由で働くことが困難な女性が活躍できる環境づくりが求められている。地域や企業で女性の活躍を加速させるよう推進、啓発活動を積極的に行っていく。

障害者スポーツの現状と取り組みは

問 スポーツ政策として一体的に障害者スポーツが推進されているが、西尾市も遵守しながら充実させることが重要ではないか。

答 今後は、競技として障害者スポーツ事業が発展していくと考えられる。本市も参加者ニーズを把握し、施設整備の充実や大会開催に向け鋭意努力していく。

6月定例会で審議され、可決した議案等

- ☆人権擁護委員に、鳥居善克氏、大木昌子氏、天野利恵子氏、倉谷厚子氏を推せんすることに同意しました。
- ☆西尾市固定資産評価員に、高須英樹氏を選任することに同意しました。
- ☆西尾市公平委員会委員に、坂田吉郎氏を選任することに同意しました。

★専決処分の承認について（西尾市市税条例の一部を改正する条例）
★専決処分の承認について（西尾市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例）
★西尾市役所支所設置条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市市税条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
★個別外部監査契約の締結について
★財産の無償貸付けについて
★平成29年度西尾市一般会計補正予算（第1号）
★工事請負契約について

6月定例会に出された陳情書

★市立小・中学校の普通教室への冷房設備の設置についての陳情書	趣旨採択
--------------------------------	------

賛否の分かれた議案

6月定例会へ提出された議案、陳情のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

「○」…賛成（採択） 「×」…反対（不採択） 「趣旨」…趣旨採択

議案等名称	議決結果	会派・議員名、表決態度																											
		西尾市民クラブ						西政クラブ				至誠クラブ			公明党		無所属												
		神谷庄二	小林敏秋	稲垣正明	颯田栄作	高野邦良	鈴木正章	稲垣一夫	鈴木武広	石川伸一	永山英人	本郷昭代	松崎隆治	岡田隆司	田中弘	工藤光雄	長谷川敏廣	松井晋一郎	渡辺信行	山田慶勝	新家喜志男	高須一弘	神谷雅章	中村健	大河内博之	大塚久美子	前田修	鈴木規子	中村眞一
西尾市公平委員会委員の選任の同意について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市立小・中学校の普通教室への冷房設備の設置についての陳情書	採択	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨
財産の無償貸付けについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長のため表決に加わらない

西尾市議会の 新体制が決まりました

西尾市議会7月臨時会において
議会人事が行われ、議長に鈴木武
広氏、副議長に長谷川敏廣氏が選
出されました。

また、議会選出監査委員には、
鈴木正章氏の選任が同意されたほ
か、委員長、副委員長をはじめと
する各委員会の委員も決定されま
した。



●副議長
長谷川 敏廣



●議 長
鈴木 武広

【議長・副議長 就任あいさつ】

市民の皆様には、日ごろより、市議会に対しまして、
格別のご理解と力強いご支援を賜り、厚くお礼申し上げ
ます。

私たちは、去る7月臨時会におきまして、議員各位の
ご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。光栄
に存じますと共に、その責任の重さをひしひしと感じて
おります。

さて、地方分権改革が加速する中、議会及び市長の二
元代表制の下、市民の代表として、執行機関に対するチ
ェック機能や政策提言など、議会が果たす役割はますます
重要になっております。

このような中、さらなる議会の機能強化と市民の皆様
に身近で開かれた議会を目指し、議会改革の取り組みの一
環として、昨年9月に「西尾市議会基本条例」を制定
し、議会の基本理念や議員の活動原則などを定め、議会
が担うべき責務を明確にいたしました。

本市のさらなる発展と市民全体の福祉向上の実現のため、
均衡のとれた市政運営が図られるよう、これまでの
経験を最大限に生かし全力で努めてまいりますので、議
会に対するなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い
いたします。

愛知県後期高齢者医療 広域連合議会	西尾市土地開発公社	会派党代表者	広報委員会	政治倫理審査会
鈴木 武広	理事 藤井 基夫 青山 繁明 稲垣 正明 神谷 庄二 新家 喜志 牧野 次郎 監事 岡田 隆司	大塚久美子 神谷 雅章 渡辺 信行 前田 修 永山 英人 石川 伸一 小林 敏秋 山田 慶勝 岡田 隆司	◎長谷川敏廣 ○颯田 栄作 黒辺 一彦 犬飼 勝博 磯部 雅弘 青山 繁 大河内博之 前田 修 稲垣 正明 鈴木 規子	◎松崎 隆治 ○大河内博之 藤井 基夫 青山 繁 小林 敏秋 神谷 庄二 牧野 次郎 鈴木 規子

9月定例市議会 開催予定のお知らせ

- 9月1日(金) 本会議(議案上程)
- 4日(月) 本会議(一般質問)
- 5日(火) 本会議(一般質問)
- 6日(水) 本会議(予備日)
- 8日(金) 文教委員会
- 11日(月) 厚生委員会
- 12日(火) 経済建設委員会
- 13日(水) 企画総務委員会
- 14日(木)・15日(金) 決算特別委員会
- 19日(火)・20日(水) 本会議

開会時間は午前10時です。
決算特別委員会は、午前9時開会です。

*本会議は議場
*委員会は第1委員会室
ぜひ傍聴にお越しください。

議会テレビ中継のお知らせ(予定) 放送日

- 9月7日(木) (9月4日 一般質問)
- 9月11日(月) (9月5日 一般質問)
- ケーブルテレビ「キャッチ」
デジタル 106CHで放映

【放送開始予定時間】
いずれも18時からです。

インターネットで議会を見よう
西尾市議会ホームページから
アクセスできます。
ぜひご覧ください。

西尾市議会 広報委員会

電話 65-2182
FAX 54-0311

議会運営委員会

【所管事項】

議会運営や会議規則、委員会条例
及び議長の諮問などに関する事項

- | | |
|--------|-------|
| ◎石川 伸一 | 小林 敏秋 |
| ○稲垣 一夫 | 山田 慶勝 |
| 犬飼 勝博 | |
| 神谷 雅章 | |
| 颯田 栄作 | |
| 稲垣 正明 | |

オブザーバー

- 大塚久美子
牧野 次郎



●議会選出監査委員
鈴木 正章

企画総務委員会

【所管事項】

企画部、総務部、資産経営戦略局、危機管理局、会計課、
議会事務局、監査委員事務局、消防本部の所管に属する
事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項



◎渡辺 信行



○颯田 栄作



松井晋一郎



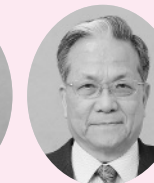
鈴木 武広



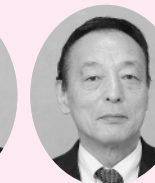
鈴木 正章



鈴木 規子



筒井 登



山田 慶勝

厚生委員会

【所管事項】 健康福祉部、市民病院の所管に属する事項



◎大塚久美子



○稲垣 正明



黒辺 一彦



青山 繁



稲垣 一夫



中村 眞一



長谷川敏廣



牧野 次郎

文教委員会

【所管事項】 子ども部、教育委員会の所管に属する事項



◎永山 英人



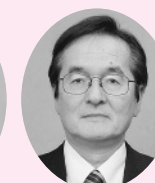
○松崎 隆治



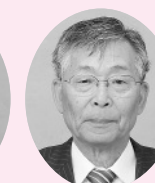
犬飼 勝博



磯部 雅弘



前田 修



神谷 庄二



新家喜志男

経済建設委員会

【所管事項】 地域振興部、産業部、環境部、建設部、上下水道
部の所管に属する事項



◎本郷 照代



○大河内博之



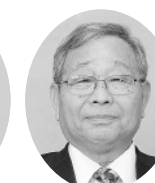
藤井 基夫



神谷 雅章



石川 伸一



小林 敏秋



岡田 隆司

◎委員長 ○副委員長 敬称略